

# 体験航海に参加してきました。 ～ 護衛艦「むらさめ」～

7月20(水)、護衛艦「むらさめ」に乗艦し体験航海へ参加してきました。



## 護衛艦むらさめ



### 紹 介

護衛艦「むらさめ」は「むらさめ」型護衛艦の1番艦で、平成8年3月12日に就役、第1護衛隊群 第1護衛隊(むらさめ・いかづちはたかぜ・いずもで編成)に所属しています。

母港は横須賀です。

基準排水量:4550t

長さ:151m 幅:17.4m 喫水:5.2m

同型艦は9隻あります。



早速、舷梯を登って乗艦します。

出港後、移動募集の自衛官が艦内、外の説明をしてくれました。



前部甲板でMK-41垂直発射装置(VLS)の説明

※VLSとは・・・

短SAMシースパローとアスロックを1つのシステムにまとめたもの。

右舷の給油装置の説明



海は偉大だ・・・。

艦橋にある艦長席にて記念撮影





今回は、2つの紹介をしたいと思います。  
この小型船は「内火艇(ないかてい)」といいます。  
どの護衛艦にも両舷に搭載しているもので、港に入港中は必ず1隻(岸壁に横付けしている方)を降ろしています。理由は、人の輸送をしたり又、他の艦艇が火災などになった時に助けに行くためです。この写真では3名乗っていますが、①が見張り員(バウメン)②が艇長③が機関科員となっています。



護衛艦の艦首ですが、左舷と真ん中に錨があるのが見えますが右舷には在りません。理由は、護衛艦の艦首に「バウ・ソーナー」があって左右にしか錨がないと投錨したときに「バウ・ソーナー」に錨鎖が当たり損傷する恐れがあるため、真ん中に錨を搭載しています。

## 体験航海に参加して・・・

- ・本当に多くの自衛官の仕事(苦勞)があつて初めて護衛艦が動くことを実感した。
  - ・自衛隊について理解の深まる貴重な体験航海であつた。
  - ・艦橋からの見学が最も印象深い。
  - ・実際に仕事をしている自衛官を見て普通の生活からは見えない苦勞や国を守る使命感も伝わってきた。
  - ・ここでしかできない仕事があるし、自分もその一員になりたいと改めて実感。
- 今日一日、引率ありがとうございました。

瀧澤 克馬

今回は「むらさめ」型護衛艦の体験航海に参加させていただきありがとうございました。自分は護衛艦に乗るのは初めてだったのでとても楽しみでした。現場について間近で見る護衛艦は画像で見るよりもはるかに迫力がありとても感激しました。また、護衛艦も兵装や内部なども詳しく知ることができ、おもしろかったです。自分と年齢の近そうな人が最前線で働いている姿を見て自分も早く働きたいなと強く感じました。本当に貴重な体験をありがとうございました。

中島 彪人

群馬地本は今後もこのような機会を利用して、たくさんの方々に自衛隊のことを知ってもらえるように頑張っていきたいと思ひます。「むらさめ」の艦長をはじめ、乗員の皆さん有難うございました。